



ユニクロ出前授業

6月18日（水）、全校生徒を対象に社会科の特設授業を実施しました。講師は、ユニクロイオン名護SC店の佐野周祐さんです。ユニクロでは、服の力で誰一人取り残さない世の中を目指し活動する「届けよう、服のカプロジェクト」という難民を支援する取り組みを行っています。授業では始めに、ユニクロの経営理念について説明があり、その後に授業が進められていきました。最初に「紛争避難体験ワーク」では、「もしも自分が明日、戦争に巻き込まれたら何を持っていくか」ということを優先順位を決めながら各グループで活発に意見を出し合いました。次に「服にはいくつもの力があり、難民支援につながる」という説明があり、集められた服がどのようにして、誰に届くのかについて動画の視聴を通して、私たちにできることは何か、自分の服が知らない国の誰かの支援につながるという実感が得られ、より理解が深まったと思います。この授業を通して、SDGs（持続可能な開発目標）と関連し、今、私たちが地球のことを考えて、行動を変えることで「明日は今日よりも幸せな一日」と思える未来がやってくる、一人一人の想いがつながり、行動が変われば、世界を変え、新たな未来を創り出すことができる、というSDGsとの関連について関心を持つことができたらいと思います。



一人一授業

6月17日（火）から、村教育委員会指導主事（国頭教育事務所指導主事）とともに授業づくり・授業研究を行うことで、教師個々の授業力の向上と授業改善を推進することを目的に「一人一授業」の取り組みが始まりました。すべての先生方が授業を公開し、校内研修テーマのもと、育てたい資質能力を設定し、取り組み方法を明確に持ち、ペア活動・グループ活動を取り入れたり、ICTの活用や意図的な発問により生徒の思考を深めさせるなど工夫して授業を実践していきます。他教科の先生方もお互いに授業を参観し、授業終了後には振り返りを行って全校体制で先生方が授業改善（わかる授業づくり）に務めていきます。授業を通して、自ら考える力・学び続ける力、他者と協働して問題解決する力、やり抜く力などを育てていきたいと思っています。

※この日は、1年生の保健体育（陸上競技）の授業です。

